

幼児教育長期派遣通信 3学期号

発行 令和5年3月30日

尾道市立因北小学校 畠舎 千尋（派遣園・所：広島大学附属三原幼稚園）

1, 2学期号では、環境構成や教師の援助の工夫によって、主体的に自己を発揮しながら遊び込んでいた姿を小学校生活にどのようなにつないでいくのかについて考えました。3学期号では、スタートカリキュラムを改善していく上で、大切だと思ったことについて紹介します。

1 3学期の研修内容

(1) 園内研修

- ・3～5歳児の観察 ・園内の環境整備 ・幼小接続期部会
- ・派遣園行事（お楽しみ会・参観日・お別れ会・小学校参観・給食体験・発育測定等）

(2) 園外研修

- ・幼児教育アドバイザーによる訪問指導 ・子供の姿をとらえる！カリキュラム研修会
- ・長期派遣研修発表会 ・所属校還元研修 ・所属校に入学してくる園児の実態把握
- ・因北校区こ保小連携会議

2 研修を通して

スタートカリキュラムの改善点や意識したポイント

体制・土壌づくり



スタート訪問

見守られていることからの安心感を醸成したり生活の違いによるギャップを減らしたりする。

安心できる
人的環境

できたことが評価されるだけでなく、できないことが許される雰囲気を大事にする。



信頼関係の
構築

スペースづくり

子ども同士が自由に遊びかわる場が保障されるように、教室から出入りできるテラスに遊びコーナーを設置し、安心できるスペースを作る。

ワクワク感

安心できる
空間設定

視覚支援

視覚的に理解できる表示で、見通しを持たせ、自分で身支度できるように支援することで、安心や自信につなげる。

達成感

思いや願いを
受け止める

やりたいことができる時間や場所を確保する。

弾力的な時間割

安心できる時間設定

登校後～1時間目 なかよしタイム 安心をつくる時間

2時間目～3時間目 ☺わくわくタイム 合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習活動

3時間目～4時間目 ☆ぐんぐんタイム 教科等を中心とした学習活動

1日を楽しく安心してスタートできるよう、ゆとりを持った時間設定をする。

♡登校後♡

- ・朝の支度が終わった児童から、朝の会まで自由遊び。
- ・時間をだんだんと短く設定する。



なかよしタイム



- 1 あいさつ
- 2 健康観察
- 3 今日の予定
- 4 みんなで遊ぼう
- 5 振り返り

♡朝の会♡

大まかな流れは固定し、時間にゆとりを持てるようにすることで安心感を持たせる。

ワクワク感

新しい友達と関われる場や教科に関わる活動（ゲーム）を意図的に設定することでワクワク感を持たせる。

生活科を中心とした大単元づくりと授業のポイント

時	月 (10)日	火 (11)日	水
1 校時	なかよしタイム ・なかよしタイムの過ごし方 ・なかよし園遊	なかよしタイム ・動物の食生活—自由遊 ・なかよし園遊	なかよしタイム ・なかよし園遊
2 校時	生活 生活 生活 ・生活 生活 生活 ・生活 生活 生活	生活 生活 生活 ・生活 生活 生活 ・生活 生活 生活	生活 生活 生活 ・生活 生活 生活 ・生活 生活 生活

合科・関連

- ・この時期の子どもたちの発達の特성에応じて、モジュールで時間割を構成し、取り組みやすい学習活動を意図的に仕組む。
- ・子供たちの思いや願いを生かし、安心して自ら学びを深める学習環境を整える。

大単元名「わくわく どきどき いちねんせい」

第1次「がっこうだいすき あいうえお」

- ・基本的な学校生活と園所での生活を比べながらワクワク感を高めていく。

- ・園所での生活を写真を用いて振り返り、小学校生活との違いについて話し合う活動を行う。

安心できる導入の工夫

- ・給食や掃除など、今までどのようにしていたのかを交流し、園所の頃と比べることで、「自分でできそう」という思いを持たせる。

思いや願いを受け止める

第2次「ともだちだいすき あいうえお」

- ・園所で親しんだ遊びや自己紹介ゲーム等を通して、友達との関わりを深めていく。

- ・子供たち自身が小学校でしてみたいことを自由に発言させ、知りたいこと、やってみたいことへの気持ちが膨らむようにする。
- ・子供たちが「学びたい!」と思えるきっかけをつくり、学習へのワクワク感を高める。
- ・日々の生活で子供たちが感じている疑問や困っていることを共有し、一緒に解決していく。

ワクワク感

第3次「いくぞ!がっこうたんけんたい」

- ・学校探検を計画し、子供たちから出てきた疑問を解決する中で、新たな発見から学びを深めていく。

- ・学校探検を通して、園所との違いを見つけていくことで、学校生活への期待感を高めていく。
- ・学校探検ではあえて、必要以上の準備はせず、「子供たちが行ってみたい教室に鍵がかかっているけどどうしよう」、「インタビューしたい先生がどこにいないのか分からない」といった疑問を持たせ、振り返りの時間にクラス全体で共有することで次時の授業につなげていくようにする。

達成感

日々の授業で大切にしたいポイント

学びのきっかけをつくる



今までしてきた経験を小学校生活に活かす。その中で、教えるべきことを精査し、自分のことは自分でできるようにする。相違点は学びに変える。

経験を活かす



「知りたい」「やってみよう」と思えるような導入を工夫したり、園所との違いを考えられるよう、子供たちの疑問や困っていることを共有したりする。

気づきを共有する



発見したことや不思議に思ったことを共有し、みんなで問題解決に向かう。

学びをつなぐ振り返り



児童同士が考え、疑問や困っていることを解決していくことを大切に学習の振り返りをする。

3 まとめ

これまで私は、「1年生だから新しいことを1つずつきっちり丁寧に教えないといけない。」「不安だろうから、事前準備を念入りにしておこう。」と手取り足取り支援していくことが大事だと思っていました。しかし、子供たちは園所で多くのことを遊びの中から学んでおり、主体的に活動する力もつけてきていました。本研修を通して、子供たちが主体的に自己発揮できるようなスタートカリキュラムに近づけることができました。4月からは改善したスタートカリキュラムの実践を通して、より生きたものになるよう更なる改善を図っていきたいと思います。

〈乳幼児教育支援センターより〉

入学前の子供たちは、遊びを通して様々な学びをしています。乳幼児期に育まれた「主体的・対話的で深い学び」、「個別最適な学び」、「協働的な学び」の資質・能力の芽生えを培っていることを踏まえ、それらを生かした教育活動に取り組むことが大切です。